

進藤かねひこ

山形後援会便り 第14号(2024年9月)

庄内・最上豪雨災害(秋田県とリレー！)

進藤議員被災地を視察

〔被災地視察行程〕

遊佐町吹浦にて(秋田県から引継ぎ)→月光川土地改良区管内(西通川揚水機場)→大町溝土地改良区管内(横根山揚水機場、最上川右岸幹線用水路、草薙頭首工管理道路)→新庄土地改良区管内(上野揚水機場)→大蔵村管内(大坪地区)→最上町管内(最上白川沿い、瀬見温泉地内)→舟形町土地改良区管内(三光堰水路)→山形駅

◇庄内地域

石垣理事長(月光川土地改良区)より被災直後の状況や田んぼへの配水方法について説明を受けて進藤議員からは「本当に感謝です。皆様方のお陰で被害を最小限に食い止めることができました。」とのお声をいただきました。



大町溝土地改良区管内に向かう途中、刈屋梨の園地被災現場を視察し、大井建設株の池田氏が栽培管理している園地(直売所)に立ち寄り当時の状況やその後の生産の状況について伺いました。

次の被災現場は、国土交通省が管理する竹田排

水機場に隣接する横根山揚水機場を視察。

農林水産省から酒田市役所に出向している久保農林水産部長や大町溝土地改良区の佐藤理事長・住石事務局長から説明を受けました。

現在、国土交通省酒田河川国道事務所と復旧に向けた協議を始めているとのこと。



国造施設の草薙頭首工管理道路の被災現場に向かう途中、右岸幹線の背後斜面の崩落現場を視察し、最上川右岸地区の2期計画の現状を伺いました。進藤議員からは「災害に強い対策が必要」との力強いコメントをいただきました。



大町溝土地改良区の最大の悩みである草薙頭首工管理道路の浸食現場を視察され、河川管理者

(国土交通省)との復旧に向けた協議上の課題を説明。(数日後、河川協議が**進展**しました！)



庄内地域を後にし、新庄市本合海にある上野揚水機場の冠水現場を佐藤理事長(新庄土地改良区)のもと視察。東北農政局からの支援要請を受けて、東急建設が揚程 30m超の高圧仮設ポンプを室内に設置。進藤議員からは「災害査定では遠慮



せずに現状をしっかりと伝えて欲しい。」との助言をいただきました。次に大蔵村の加藤村長との対談を行うため日曜日の役所に伺いました。



加藤村長からは、平成30年、令和2年、そしてこの度の豪雨と3度にわたり大きな被害を受けたことや大蔵村(大坪地区)では救助に向かっ

た2名の警察官が殉職されたことなど、悲惨な状況について説明を受けました。

次に、最上町の高橋町長との対談と最上白川沿いの冠水した農地や瀬見温泉への土砂崩落現場を視察しました。町長室では、土地連最上支部からの要請書が手交されました。



本日の最後の視察地の舟形町の三光堰地区では土砂降りの中、森町長からはこれまでの数々の支援への感謝と復旧までの道筋が示されました。



進藤議員より「一日も早く**被災**された方々の日常が戻るよう、宮崎議員とともに関係省庁への働きかけをしてみたい。」と力強いメッセージをいただきました。最後に「闘う土地改良」の**旗印**のもと進藤・宮崎議員が現状を国政の場で訴え続けていけるようしっかり支えましょう！

発行:進藤かねひこ山形後援会

〒990-0024 山形市あさひ町 16-21

☎:023-641-7888 FAX:023-631-1502

E-mail:renmei@y-tochikairyō.or.jp